

2021年度 健康科学大学卒業生の在籍する企業のニーズ調査結果集計

調査概要

1. 目的

本学卒業生の在籍する企業（病院・福祉施設等）から忌憚のない意見をうかがうことで、企業の求める人材像を把握し、本学の教育指導及び学生支援などの見直し・改善などに活用するため

2. 対象

過去3年間(2018年度～2020年度)の本学卒業生が卒業時に就職した病院・施設282施設（一般企業を含む）☐
☐

3. 実施・回収期限

実施日 : 2021年12月7日

回収期限: 2022年 1月7日

4. 活用方法

本学卒業生の在籍する企業のニーズ調査結果報告書として取りまとめ、大学運営に活用するとともにホームページ等で公表する。

5. 配布件数

265件配布、89件回収（回収率33%）

6. 変更点

健康科学部において例年8月上旬に行われる「就職説明会」の際の配布を行わず、今年度は2018年度から2020年度卒業生が就職した団体265施設にアンケート回答依頼を送付した。回答はすべてオンラインにて対応した。

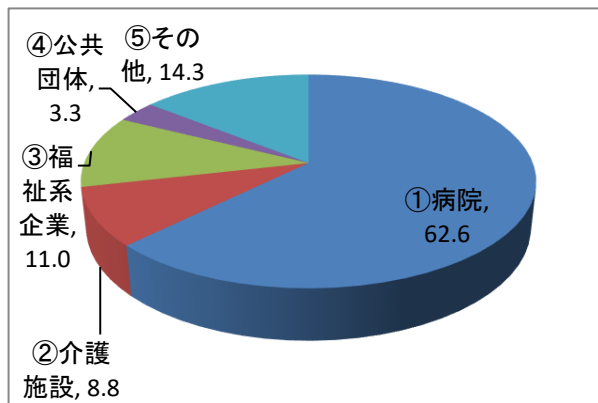
□基礎情報

問1 貴社・貴団体名をご記入ください。《省略》

問2 貴社・貴団体の主たる業種について、該当する番号を1つ選んで回答欄に記入してください。

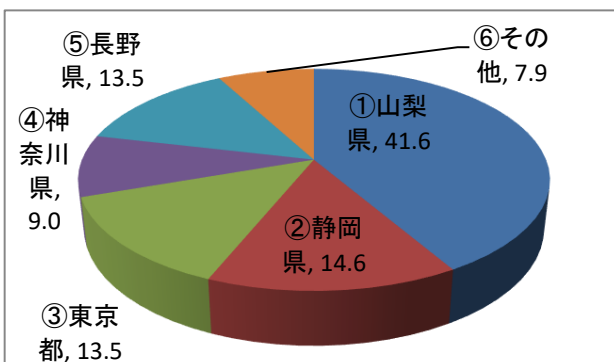
	回答数	2021年度(%)	2020年度(%)
①病院	57	62.6	60.3
②介護施設	8	8.8	11.1
③福祉系企業	10	11.0	4.8
④公共団体	3	3.3	2.4
⑤その他	13	14.3	21.4
合計	91	100.0	100.0

複数回答: 2件



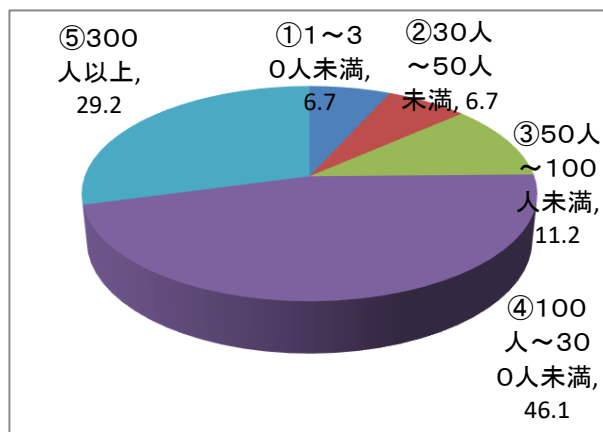
問3 貴社・貴団体の本社等の所在地について、該当する番号を1つ選んで回答欄に記入してください。

	回答数	2021年度(%)	2020年度(%)
①山梨県	37	41.6	41.6
②静岡県	13	14.6	13.6
③東京都	12	13.5	13.6
④神奈川県	8	9.0	11.2
⑤長野県	12	13.5	9.6
⑥その他	7	7.9	10.4
合計	89	100.0	100.0



問4 正規雇用者数について、該当する番号を1つ選んで回答欄に記入してください。

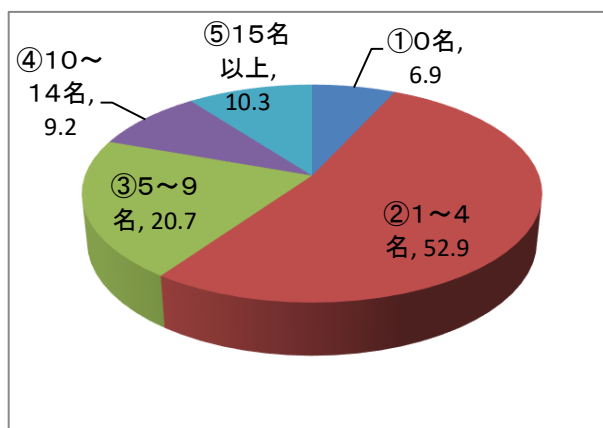
	回答数	2021年度(%)	2020年度(%)
①1~30人未満	6	6.7	10.4
②30人~50人未満	6	6.7	4.0
③50人~100人未満	10	11.2	12.8
④100人~300人未満	41	46.1	35.2
⑤300人以上	26	29.2	37.6
合計	89	100.0	100.0



問5 貴社・貴団体に勤務する健康科学大学出身者は何人ですか。人数を記入してください。

	回答数	2021年度(%)	2020年度(%)
①0名	6	6.9	5.7
②1～4名	46	52.9	61.0
③5～9名	18	20.7	20.3
④10～14名	8	9.2	6.5
⑤15名以上	9	10.3	6.5
合計	87	100.0	100.0

未回答2件

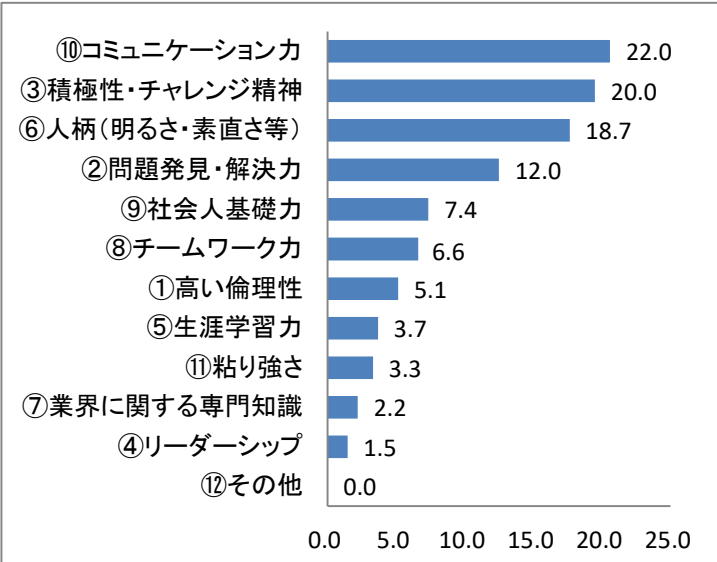


□卒業生の在籍する企業のニーズについて

問6 社会に出て活躍するために必要だと考える能力要素はなんだと思いますか。上位3つを選んで回答欄に記入してください。

	回答数	2021年度(%)	2020年度(%)
⑩コミュニケーション力	56	20.6	23.7
③積極性・チャレンジ精神	53	19.5	15.4
⑥人柄(明るさ・素直さ等)	48	17.6	19.4
②問題発見・解決力	34	12.5	12.4
⑨社会人基礎力	20	7.4	10.5
⑧チームワーク力	18	6.6	5.9
①高い倫理性	14	5.1	3.8
⑤生涯学習力	10	3.7	3.2
⑪粘り強さ	9	3.3	2.4
⑦業界に関する専門知識	6	2.2	1.6
④リーダーシップ	4	1.5	0.5
⑫その他	0	0.0	1.1
合計	272	100.0	100.0

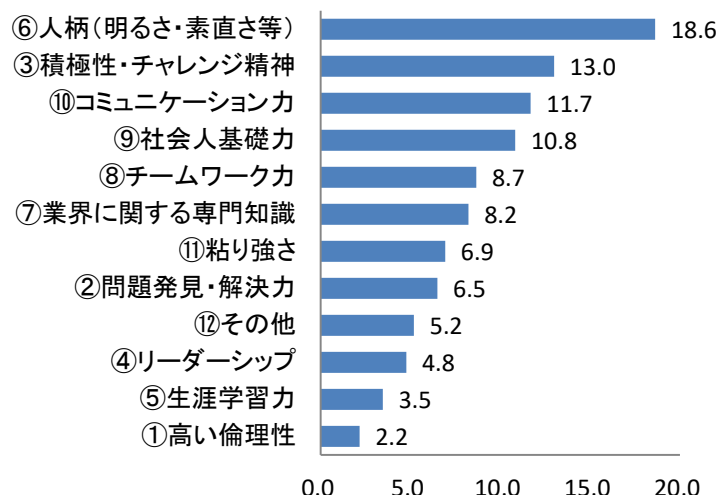
※一部未記入施設、記入件数2件未満あり。



問7 本学卒業生に不足していると思う能力はなんだと思いますか。上位3つを選んで回答欄に記入してください。

	回答数	2021年度(%)	2020年度(%)
⑥人柄(明るさ・素直さ等)	43	18.6	15.0
③積極性・チャレンジ精神	30	13.0	20.4
⑩コミュニケーション力	27	11.7	9.7
⑨社会人基礎力	25	10.8	6.2
⑧チームワーク力	20	8.7	4.7
⑦業界に関する専門知識	19	8.2	8.0
⑪粘り強さ	16	6.9	3.5
②問題発見・解決力	15	6.5	14.2
⑫その他	12	5.2	6.2
④リーダーシップ	11	4.8	8.0
⑤生涯学習力	8	3.5	3.5
①高い倫理性	5	2.2	1.8
合計	231	100.0	100.0

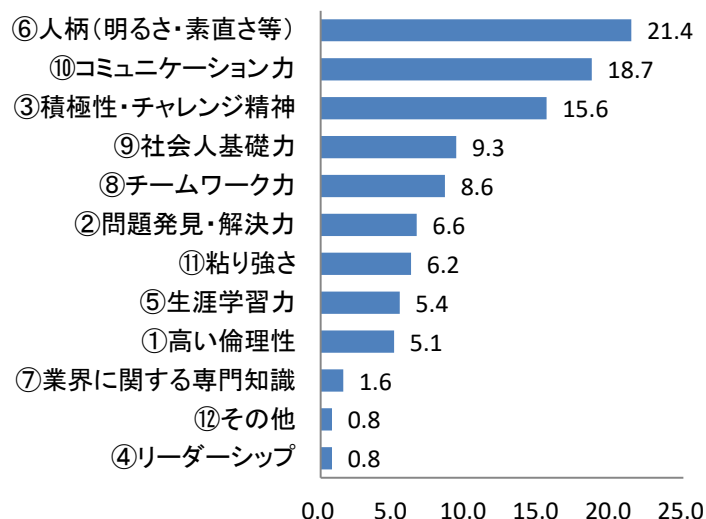
※一部未記入施設、記入件数3件未満あり。



問8 本学卒業生が既に身に付けていると思う能力はなんだと思いますか。上位3つを選んで回答欄に記入してください。

	回答数	2021年度(%)	2020年度(%)
⑥人柄(明るさ・素直さ等)	55	21.4	24.8
⑩コミュニケーション力	48	18.7	14.8
③積極性・チャレンジ精神	40	15.6	11.9
⑨社会人基礎力	24	9.3	8.1
⑧チームワーク力	22	8.6	11.0
②問題発見・解決力	17	6.6	3.5
⑪粘り強さ	16	6.2	6.1
⑤生涯学習力	14	5.4	4.5
①高い倫理性	13	5.1	4.5
⑦業界に関する専門知識	4	1.6	5.2
⑫その他	2	0.8	5.2
④リーダーシップ	2	0.8	0.3
合計	257	100.0	100.0

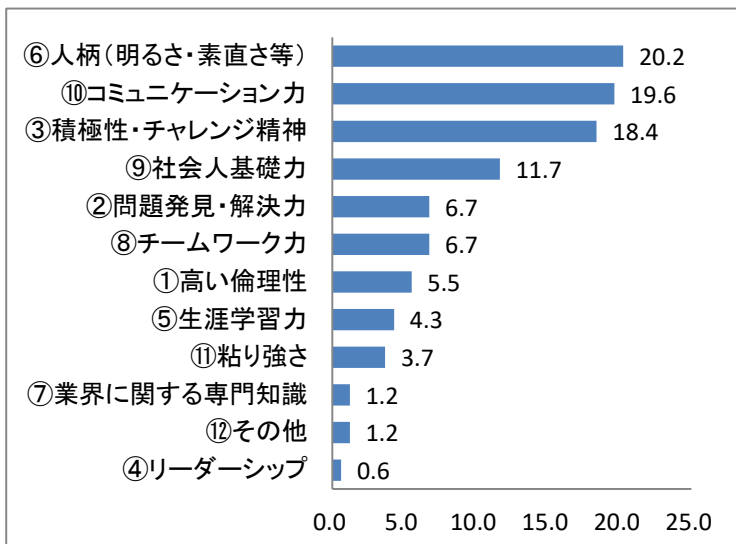
※一部未記入施設、記入件数3件未満あり。



問9 貴社・貴施設では就職希望者(新卒)にどのような能力が必要と考えますか。上位3つを選んで回答欄に記入してください。

	回答数	2021年度(%)	2020年度(%)
⑥人柄(明るさ・素直さ等)	33	18.4	22.6
⑩コミュニケーション力	32	17.9	21.5
③積極性・チャレンジ精神	30	16.8	15.9
⑨社会人基礎力	19	10.6	11.0
②問題発見・解決力	11	6.1	8.1
⑧チームワーク力	27	15.1	7.3
①高い倫理性	9	5.0	3.5
⑤生涯学習力	7	3.9	4.3
⑪粘り強さ	6	3.4	4.3
⑦業界に関する専門知識	2	1.1	1.1
⑫その他	2	1.1	0.5
④リーダーシップ	1	0.6	0.0
合計	179	100.0	100.0

※一部未記入施設、記入件数3件未満あり。



問10 社会人として必要なことや学生時代に身に付けてほしい能力・経験しておいてほしいことなどありましたら、記入してください。

・頭で考えていることを行動に移す習慣を備えてほしい。可能な限り外に出て、多くの世代・価値観の方と接する機会を設けていただきたい。

・失敗から学ぶ事が成長につながると考えているので、興味を持った事に積極的にチャレンジして欲しいです。

・学生時代にしか出来ないこと(旅行、アルバイト、サークル活動等)※複数回答あり

・対人関係の確立に苦労しているケースがあり、コミュニケーション力と共に、他人との関係性の取り方など身につける機会があるといいと思います。バイト経験(接客)があるなど。

・さまざまな症例数、社会人としての立ち居振る舞い、複数回答あり

・他者とのコミュニケーション※複数回答あり

・受け身の姿勢が多いと感じております。とても優れた能力をお持ちの学生が多い大学と思いますので、在学中に自身の魅力を発揮できる経験を積んでいただきたいです

・問題発見・解決力は専門知識以上に大切と考えます。チーム医療の中において、どのように問題を提起するか、どのように伝えることができるか、どのようにアプローチ方法を見出すのか。専門知識の高い向上意欲も学生の頃より培われるものと感じます。

・職種に関わらず、ここ数年はメンタル不調を訴える職員が多い印象があります。職場に出れば、学生時代よりも思い通りにならないことも多いと思います。打たれ強さは求めなくとも、落ち込んでいい、その時に自分なりの息抜きができるなど、セルフケアを身に付けておくのも大切だと感じています。

・対人関係やコミュニケーション力、メンタル等を高めてほしい。

・指示を待つだけでなく自分で考えて行動する力を身に付けていただきたい。(大変だと思いますが)※複数回答あり

・理学療法士を目指すにあたり、同職種、他職種、患者様、そのご家族など幅広い年齢層の方と接する機会があります。利用する方には新人、経験者に関係なく職員の一人として見られます。基本的な礼節、身だしなみ、心遣いなど医療人に限らず、必要な対人交流が図れるように学内でも指導が必要だと思います。医療的専門性については卒業後教育にて捕捉しながら経験を積み重ねていただければと考えています。

・相手を思いやる気持ち、配慮ができる、社会人基礎力

1.聞く力:指摘や指導を素直に受け止める姿勢、2.応用力:聞いていない、教わっていない等の返答が多い、3.聞く力、応用力の基礎となる考え方

・失敗から学ぶ事が成長につながると考えているので、興味を持った事に積極的にチャレンジして欲しいです。

・粘り強さを必要とする機会、専門職の適性の自覚

・色々な分野の方と交流及び体験学習をし、幅広い分野の知識経験を身に付けてほしい。

・勉強も遊びも共感できる多くの友人を作ってもらいたい。そんな仲間を大切に出来るような心を作る学生生活を送って欲しい。

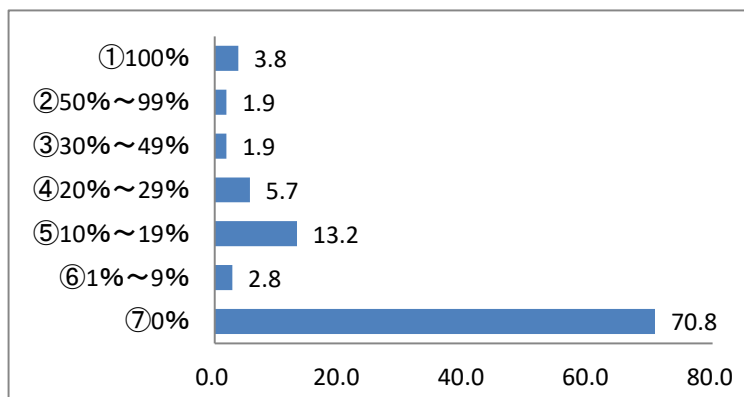
・挨拶などのコミュニケーション能力、問題を解決できる方法を身につけることができる

・人生は甘くない。自分で選んだことの責任は自分でとらなくてはいけないことを基盤に生きて欲しい

問11 昨今、若い世代の3年以内離職率が問題になっています。貴社・貴施設において、健康科学大学の卒業生の3年以内の離職率は何%程度か記入してください。

	回答数	2020年度(%)	2019年度(%)
①100%	4	3.8	0.0
②50%～99%	2	1.9	2.4
③30%～49%	2	1.9	7.1
④20%～29%	6	5.7	7.1
⑤10%～19%	14	13.2	7.1
⑥1%～9%	3	2.8	4.8
⑦0%	75	70.8	71.4
合計	106	100.0	100.0

※未記入19施設



自由記入欄

ご意見・ご要望などがある場合は記入してください。

・昨今は1～2年で離職する職員も珍しくない状況です。これには働き方の多様化や就職・転職情報をキャッチしやすい環境などが一因として存在していると考えます。「進学の際にやりたいことが複数あり、その中でセラピストの道を選択してみた」、「親に勧められてセラピストを目指した」などの理由もよく聞かれます。国試に合格することがゴールではなく、国試に合格してから自己研鑽を積んでいくのだというイメージを学内教育で醸成していただければ幸いです。

・職場でも、現場に慣れるよう全面的に育成・サポートしていますが、本人が悩んでしまった時のサポートを卒後サポートとして、大学側にも依頼していきたいと考えます。

・貴学の卒業生で今年12年目の職員はサブリーダーとなり頑張っています。決して近い距離ではありませんが、卒業生もたくさんいるので、是非見学にお越しください。

・御校の卒業生も今では当センターで研究発表や自己研鑽に取り組んでいます。令和5年度採用において、是非とも御校の学生さまへのご紹介をいただけますようお願い申し上げます。

・学生時代の状況を社会人になった時に情報交換できるようにしていきたい。今後、インターン制度などが看護の中でも導入されるかも知れませんが、今はまだの状況です。

・出身大学が採用や就職後に影響することはありません。医療のプロとして、どのようにして医療に貢献できるかをしっかり考えながら取り組める方々が必要で、単にサラリーをもらう為の労働になるような人材は医療の発展の妨げになる為、大学在学中から進むべき道の変更を提案して頂く指導をお願いします。

・多くの卒業生が就職し、活躍してくださっており、ありがとうございます。こちらの指導不足もあろうかと存じますが、理学療法士の方の積極性・チャレンジ精神が少し乏しい印象がございます。アンケートにおいては、16名と多くの卒業生をひとまとめにして返答するのは少し難しさもございました。今後ご検討いただければ幸いです。

・地元企業として様々な職種での求人を展開しておりますので、引き続きのご厚情を賜りますようお願い致します。

・自らの意志でこの専門職を目指していた訳ではないと挫折するスタッフが目立つようになった。職員になってからではなく、在学中に自己の適性を確かめられる機会が必要であると感じます。

・個人の問題も大きいとは思いますが、自己分析力が未熟な人が多いように感じます。例えば何か壁にぶつかったとき、何が起きているか何に困っているかよくわかっていない様子がしばしば見受けられ、こちらが困っていることはないか聞いても「ない」と答えます。問題を把握することが出来ないため、「報告・連絡・相談」が出来ず、問題が表面化したときに大きな問題に発展してしまっていることが多々あります。プライベートなことまで逐一報告する必要はありませんが、ともに仕事をするために必要な情報や何に困っているか何がわからないかということは共有できたらと思うのですが。

(原文)